### 体 拝 を 振 IJ 返 寸

五位組組長

たようで

理

由

は色

々とあると思

同じような

状

況

やは

新

い世代の

参加

は

珉照寺 住職 山岸智史



御影堂 ・ 伝灯奉告法要参拝

2017年 (平成 29 年) 5月31日

念仏のこころに生きる生活を

立は組だより

净土真宗本願寺派 高岡教区 五位組

題字・織田隆夫

主

いたしました。立に立ち寄って、その日の夕ち京都で一泊し、次の日(十四日にふれることができました。そ では専如門主たしました。 ができたのは大きな喜びでなさんとともに遇わせてい 口 到 本 廟 たことが大きな反省点です。 は予定よ 伝 十三日の朝六時に出 灯奉告法要という貴重 立ち寄り、 如門主の人柄と大谷家の温かさ 全国的に 後の伝灯奉告法要にお参り これ りも は大きな喜びでしたが、 法要後の「伝灯のつど は五 参加人数が集まら お昼過 位組 発 だけ 夕方に なご縁を その 日 途中  $\mathcal{O}$ 本 願寺 問 帰 天橋 日 な 大 題 は いに 谷

みなさんとともに一十四日にかけて、値た。五位組では、さ 伝灯奉告法要が昨 平 、と法: ただきました。 門主から たことを受け 承式 さる四 僧侶 年から勤めら (お 二八名で参拝さ 光淳 · 寺族 月十三日 . 替 匝 本 わ . 大谷光 ŋ 願 パラでは が執 門 れま 如 か 徒 門 せの 5 世 ま 参 0 が す。

大谷本廟、明著堂 ・ 親鸞聖人の廟所

と感じました。 少なか 代とのご縁を結んでいくことが大切 今回の伝灯奉告法要を機縁に新  $\mathcal{O}$ ったことが原因 昨今よく言われます、 地続きの カ と 思 問題だと 寺 だ 1 え  $\mathcal{O}$ 

た全ての方々に御礼申 とうございました。 に良かったことです。 く全員無事に帰ることができたのは とは言いましても、 参 大きなトラブ 加、 げ 協力し ル 本当 b がれ な

て

## 自坊绍介

## 法善寺

といわれる。 の家臣として越中国に入国した 守氏知」(初代長光寺住職「超円」) 醐天皇の皇子)の随身、「織田陸奥 寺とともに住する寺院である。 伝によれば、南北朝時代 )年(興国元年) 宗良親王 善寺 は、 石堤の山間に長 三四 (後醍 寺 光



戦前より続く青年報恩講でのお 教化団体のお世話等、 経練習会、地蔵祭勤行、長光寺 は二十一代(武部淳示)となり、 続に精進させていただいておりま 信徒の方々に支えられご法義相 ※その他歴史的詳細は、五 開基より四百八十八年、現在 だより第十二号「長光寺自 紹介」をご参照ください。 地域の門 莅 坊 組

## 高岡市 ·石堤 伝灯奉告法要に参拝.

しました。 〜十四日の伝灯奉告法要に参拝 五位 組は第七期で四月十三日

内容の一部をご紹介いたします。 ンケートをお願いしました。その その時の帰路、 参拝者の方にア

た。その後、「氏友」は「民部」を

手元に残し出家したが、七人衆

号し、「織田陸奥守氏

知」の家老

武部家初

代は「武部民部」と

七人衆の筆

頭家老として仕

### 法要について

堤村・赤丸村・谷内村・五位 は筆頭家老「民部」を中心に、

Щ

石

等に農耕武士として住を構え戦

石動水牧·五十里·砺波太田村

りました。御門主様には健康に留 涯を通じて思い出に残る参拝とな く良い場所(前列)であった為、 下さるようお願い申し上げます。 意され、浄土真宗の布教に尽力 70代男性) 御影堂での座席がすばらし 生

代女性) かな式典に感動致しました。 2 八典に感動致しました。(60 浄土真宗の伝統の重みと厳

と違いました。(8代男性) にない機会に参拝することがで の募集を知り、参加させて頂きま る予定だったのですが、団体参拝 良かった。お経の節は平生の した。伝灯奉告法要という、滅多 4 3 当初は家族のみで納骨に来 荘厳な雰囲気を体験して ŧ

> した。 き、 した。(50代夫婦) 素晴らしい思い出となり 本当に有り難うございま ま

- んの参加者でびっくりしました。 60代女性) 北海道から九州までたくさ
- です。天候にもめぐまれて楽し いただきありがとうございまし どが間近に見えてとてもよかった 旅行ができました。( 70代女性) 座らせていただいて、御門主様な 伝灯奉告法要に参加させて 伝灯奉告法要では前列
- 拝されていた事が本当にびっくり た。全国からたくさんの人々が参 た。(60代男性) ことは大変な仕事だと思いまし しました。八十日間の法要をする

### 帰敬式について

性 たです。感謝致します。 る中、この時間は大変貴重な機会 した。この参拝に参加して良かっ でした。どうも有り難うございま た。最近世の中がざわざわしてい 雰囲気を過ごさせてもらいまいし 8 帰敬式の時、静かで厳かな 60 代

が向くようにと思います。(70代ございました。これからお寺へ足

参加させて頂き、有り難う

四日市

浄明寺

秋の報恩講の際にお勤めの予定

て居ります!! (70代男性)

て楽しいひとときでした。ありが

方々に感謝です。感動そし

❷ お世話をしていただいたお

とうございました。(60代女性)

お陰様で清々しい旅でし

次回の企画を楽しみにし

テルの食事はあ た。(60代女性) 法要の席が大変良かった、 のまり良くなかつれた、ホー

事とも) (80代男性) 和風式の方が良い。(酒、

レイでした。 (60代女性) 開で感激でした。ホテルも近くキ して、とてもよかったです。桜も満 久しぶりに会う人がいたり

# 団体参拝のおかげで本願

## 派な所々を拝見させて頂 代

内島

六月十二日

### 内 法 座 뗴

の 立

てとてもよかったです。(70

各寺院の祠堂経法座の日程をお知らせします。 ※日程は変更になる場合があります。

法話 富山志

日市水橋 石川 一日 朝 九時三十分日 昼 二時

時三十分

了英 <u>屋</u>

師

### 麻生谷 西光寺

六月十六日 朝 九時三十分

布朝昼 二時 住職継職法要

氷見市 施 九時三十分 昼 圓 時三十分

法話:

六月二十四日 朝九時 **上向田 浄永寺** 射 水市市 時三十分 昼一 公文名 時三十分

の詳細に 0 いては、 各寺院にお問い合わせくださ

五月二十 法話 研波市 十一日 九時三十分 昼 秋知 仁史 一二時 師

## 笹川

六月四日 法話 高岡市· 朝 九時三十分 昼 二時朝 九時三十分 昼 二時

### 内島 岡西 法英

## 三日市

法話 高 高 昼 一時三十分 時三十分

法七 辻 月十七日 朝 石川 . 県加賀市 日下 賢 裕

## 立野

法話 高岡市中保 藤田八月二日朝、九時三十分 昼一時三十分

## 山岸

法話 南砺市城端八月二十四日 朝 八月二十三日 昼 二時三十分 十時 昼 二時三十分 杉谷

七月一 日 昼一 時三十分

七月三日 法話 氷見市脇 九時三十分 昼 昼 一 一

### 寺西 良夫

師

### 赤丸

七月二 法 日 福岡町大野 朝 九時三十分 新原 忠男 師

### |岡市戸出六十歩 林 要昭

師

各寺院の黎明講座の日程をお知らせします。

### 講 黎 明 座 内 案

 内島
 教願寺

 八月十五日

 八月十五日

朝朝朝

六六六時時

**石堤** 八月二日 八月二日 **長光寺** 

朝朝朝

五五五 

日

立野 永念寺 八月十日 (木)

野

八月一 

朝朝 五時三十分

五位組

第十九回五位

夏休み子ども大会

七月三 七月二 一 一 十 **珉** 日 九 日 日 日 **日** 日 朝朝朝 五時三十分

三日市

七月二十七日 光源寺 朝

### 行事予定

場所 日 こぶし荘 八月四日

**向講合同夏講座** 

高岡市 岡西 二十五日講·平等 法英 内島 師

歴史講座

日程 六月二十八日 水

場所

土屋

珉照寺

小矢部市西中

Ш

師

## ビハーラ研修会

所 九月十日 (日) 麻 生谷 西光寺

ら日々を精進しなけ 阿弥陀仏」をとなえなが 様の心に寄り添い、「南無 おもいますとともに、 れない気持ちになりま お導きを感じずには 話を聞き、驚きと仏様 ちゃんが一緒にお参りし 族から「お父さんとば 済ませ帰宅した私に、 きました。 亡くした私は、この夢の ていた夢を見た」と話 法要に参加することが てくれました。 私は、 私は「ご縁だな」と 法要を無事 口  $\mathcal{O}$ 昨年母, 伝灯 いら れ  $\mathcal{O}$ を あ

後

記

編

集

五位組だより 第14号 平成29年5月31日発行 五位組組長事務所(土屋 珉照寺内)/編集·製作 五位組門徒推進員協議会